

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療情報システムの相互運用性確保のための対向試験ツール開発事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：渡辺顕一郎	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各種情報システムの相互運用性確保を行うことで、医療機関のマルチベンダにおける費用負担の軽減に資するものであり、そのための対向試験ツールの開発、普及推進を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関内で使用される各部門系システムについての標準化を進めるため、異なるベンダ(メーカー等)間のシステムを対向試験ツールを使用し、実際に相互に接続して相手のシステムと支障なく情報のやり取りを可能にするための試験を行い、その結果を広く公表するもの。これにより、どのシステム同士が接続可能か把握することができ、その結果でコンポーネント化(部品化)された接続可能なシステムを医療機関が選択して導入することが可能となる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	108	89	89	30	30
	執行額	105	85	89			
	執行率(%)	97.2%	95.5%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	対向試験ツールの結果、相互運用性の確保が確認できたシステム数	成果実績	システム	86	89	83	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医療機関内の仕様の異なる各システムの相互接続性や互換性を確認するための取組を進めるためのシステムツールの開発を行う。	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)		(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	システムツールについて定量的表示が困難であることから、単位当たりのコストは算出不能。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	ツール開発費	30	30	-			
	計	30	30				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療機関内の各システムの互換性等の確保を行い、効率的な医療情報システムの普及を図る事業であり、ニーズは高い。全国的な普及を図る上でも、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国的な普及を図る上でも、自治体等ではなく国主導で行うべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		△	医療システムの汎用性の観点から優先度は高いものの、システム技術も日々進化するものであることから、予め定量的な目標設定をすることは困難。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	企画競争入札を行い、事業者を選定しており、競争性は確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者であるメーカーには実証試験の参加にあたり参加料を徴収しており、負担関係に問題はない。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、その上で、必要があれば可能な限りの節減を実施。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	支出を行うにあたっては、必要性を勘案した上での支出を行っている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の経費のみの予算計上としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	実績報告から見て他の手段と比較しても効果的な手段である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	相当数のシステム試験を継続的に実施しており問題はない。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		△	これまでは主に対向試験ツールの開発を行ってきたものであり、25年度以降、普及推進に取り組むものである。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点検結果	医療機関のマルチベンダにおける費用負担の軽減の観点から非常に重要であり、医療機関内の仕様の異なる各システムの相互接続性や互換性を確認するための取組を進めるためのシステムツールの開発を進めているところである。相互運用性の確保が確認できたシステム数においても、年々着実に増えていることから、今後も継続して取り組むこととしている。				
	外部有識者の所見				
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	医療情報システムの相互運用性確保のための対向試験ツール開発事業については、異なるベンダ間のシステムを実際に相互に接続して相手のシステムと支障なく情報のやり取りを可能にするための試験を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	執行状況・成果実績等を踏まえ、より効率的に事業を実施していく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	104	平成23年	0085	平成24年	064

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
89百万円

【医療機関内で使用される各部門系システムに
ついての標準化を進めるための補助】



【企画競争】

A. 一般社団法人 日本IHE協会
89百万円

〔医療情報システムの相互運用を確保する
ための接続試験用ツールの開発を実施。〕



【委託・随意契約】

B. 民間会社(3)
39百万円
...AJS(株) 18百万円

(システム開発)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.一般社団法人 日本IHE協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	人件費等	39			
人件費	事務局員給与等	24			
旅費	委員等旅費	14			
消費税	消費税	4			
役務費	資料翻訳	3			
借料及び損料	事務機器・サーバー借料等	3			
その他	印刷製本費、消耗品費	2			
計		89	計		0
B.AJS(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	コネクタソツール開発	18			
計		18	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般社団法人日本IHE協会	事務局業務及び報告書作成	89	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	AJS(株)	コネクタソツール開発(接続性確認検証ツール開発プロジェクト管理 等)	18	随意契約	
2	(株)グローバルラボ	コネクタソツール開発(ポータブルサーバの開発)	13	随意契約	
3	デジタルセンセーション(株)	コネクタソツール開発(インターネットサーバの開発)	9	随意契約	